小規模多機能型居宅介護　サービス評価

【様式集】

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・(事-①～⑨)

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

◆実　施　日　令和７年１月１４日

◆評価確定日　令和７年３月２１日

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年　1 月 14 日（13：30　～　14：00　）

１．初期支援（はじめのかかわり）	ﾒﾝﾊﾞｰ	松澤副主任、岩澤、木村、近藤、武田、長崎、芳賀、本多看護師、金谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2	10	1	0	13

前回の改善計画
・利用開始前から利用に至るまでの情報共有については今後も必要な情報を適切に職員間で共有できるよう取り組んでいく。利用後の利用者本人には職員との関わりのなかでの気付きを増やしながら、安心して過ごせるような環境を作り、家族との関係性構築にも時間を掛け、丁寧に説明と納得を繰り返しながら気軽に相談できるような事業所を目指す。

前回の改善計画に対する取組み結果
・利用開始前から利用に至るまで、本人・家族のニーズについて職員間で情報共有し、まずは必要としているサービス内容を明確にし、不安なく安心してサービス利用を開始できるように、職員一人一人が意識しながら取り組むことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	4	9	0	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	3	10	0	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	3	10	0	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	3	8	2	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・毎日のミーティング（朝・昼）時間を活用し、利用開始前の本人の情報やニーズについて情報共有・周知を図っている。
・利用開始前に、本人・家族が必要としているサービス内容について確認し、訪問・通い・泊まりサービスを組み合わせ支援している。
・通い利用に消極的な方へは、まずは訪問サービスで馴染みの関係作りを構築し、時間をかけて関わる。そして通いサービス利用へ繋げることが出来ている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・本人の不安毎に関しては利用時に聞き取りや傾聴できているが､介護者の心配な点や不安な面に関しては、十分に聞き取ることが出来ていない。理由としては、家族と関わる時間が中々取れないため。必要時は、電話等で確認しているが、職員によって個人差が大きい。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

・今後も引き続き、利用開始前の本人や家族の情報・ニーズに関してミーティングを通じて情報共有・周知を図っていき、本人・家族が不安なくサービス開始できるように努めていく事と、家族・介護者との関わりを積極的に行っていき関係構築に努めていきたい。送迎時や電話連絡時を活用し、ご家族への積極的なコミュニケーションに努め、気軽に何でも相談できるような関係作りに励んでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年　1 月 14 日（13：30　～　14：00　）
２．「～したい」の実現（自己実現の尊重）	ﾒﾝﾊﾞｰ	松澤副主任、岩澤、木村、近藤、武田、長崎、芳賀、本多看護師、金谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1	9	3	0	13

前回の改善計画
本人の目標やケアプランの目標を本人の状態、家族の意向と照らし合わせながら適切な支援できるよう、情報収集しその情報を整理しながら支援できる体制が正しく機能するよう取り組む。

前回の改善計画に対する取組み結果
本人の目標に関しては、ケアプランに基づき支援できている。本人・家族の意向にできる限り沿えるように取り組んでいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	2	9	2	0	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	2	9	2	0	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	2	8	3	0	13
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	3	9	1	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・「本人の目標」に関しては、ケアプランに明記し職員間で情報共有している。また、「～したい」意向に変化が生じた際は、ケアプランの変更や見直しを行い、日々変化していく想いや意向に可能な限り沿うことが出来るように努めている。
・日々の関りの中で実践した内容やその結果に関しては、ミーティング内で職員一人一人が発する事ができており、振り返り、改善点は見直しをしている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・業務をこなすことが優先されたり、日々の業務の忙しさの中で、本人の目標に沿った関わりを見落としてしまっている事がある。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

・今後も本人の目標や意向に関して、職員間で情報共有しながら登録者一人ひとりと関わっていく。多忙な業務のなかでも、登録者個々の目標や意向に関しては常に念頭に置いたケアが提供できるように、職員間で意識しながら取り組んでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年　1 月 14 日（13：30　～　14：00　）
３．日常生活の支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	松澤副主任、岩澤、木村、近藤、武田、長崎、芳賀、本多看護師、金谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2	10	1	0	13

前回の改善計画
・日々の利用者との関わりのなかでの気付きを簡潔明瞭に記録することを職員間で周知を図り、職員が利用者一人一人の個性や特徴を把握できるように取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果
・日々の変化や訴えに関して、小さな事でも記録する事や連絡ノートに残すことで周知を図ることが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	0	6	6	1	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	5	7	1	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	0	10	3	0	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4	9	0	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	5	8	0	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・登録者一人ひとりに合わせ適した基本的な支援を個別的に実施できている。 ・日々の関りでの登録者の変化や訴えについては、ミーティングを通し情報共有している。また、その変化や訴えに対し、支援内容や対応方法を見直し改善している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・状態を把握し必要なケアは行っているが、「以前の暮らし方」を十分把握できていない。が、日々の関りの中で個人を知る・把握する事は可能である。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・登録者一人ひとりの生活環境をより深く把握することが出来るように、日々の関りの中から以前の暮らし方について聴取し、職員間で情報収集・共有していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年　1 月 16 日（13：30　～　14：00　）
４．地域での暮らしの支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	松澤副主任、岩澤、佐藤、鈴木、武田、長崎、本多看護師、金谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

2		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0	6	6	1	13

前回の改善計画
引き続き利用者を取り巻く環境やこれまでの生活歴の把握を心掛け、可能な限り地域での生活を継続できるよう社会資源の把握をし、職員間で共有できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
登録者一人ひとりの環境や生活歴に関して、日々の関りの中から情報を得て職員間で情報共有し、住み慣れた地域・自宅での生活が継続できるように取り組んでいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	2	9	1	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	8	4	1	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	4	8	1	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	3	4	6	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・日々の関りの中から、本人の生活スタイルや人間関係等を把握することができており、知りえた情報に関してはミーティングを通して職員間で情報共有できている。
・ご家族との情報交換のやり取りから、登録者が事業所を利用していない時間帯の過ごし方等について情報を得ている。
・個人的に、必要な方へは地域の資源を活用できている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・包括支援センターとは、必要時すぐに連絡を取り合いお互いに相談し合える関係作りはできている。が、民生委員や地域の資源等の把握に関しては希薄である。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

地域の資源の活用、民生委員の方の把握と関わりを持つように努力し、登録者が住み慣れた地域で可能な限り在宅生活を継続できるように取り組んでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年　1 月 16 日（13：30　～　14：00　）
５．多機能性ある柔軟な支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	松澤副主任、岩澤、佐藤、鈴木、武田、長崎、本多看護師、金谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？		9	1	1	13

前回の改善計画
利用者や家族の意向も確認しながら、引き続き適切なサービスの利用、感染予防対策を取りながら活用できる社会資源の活用を模索していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
感染対策を講じながら、地域に出向いた活動を再開しているがまだまだ不十分である。新しい活動スタイルを模索してく必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	1	5	6	1	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	5	8	0	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	6	7	0	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	6	7	0	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・本人、家族のニーズに合わせ、通いを中心に訪問や泊まりサービスを組み合わせ提供している。
・職員による個人差は大きいが、登録者の小さな変化に気付き、気づいた点は職員間で情報共有している。
・日々変化するニーズに合わせ、柔軟かつ出来るだけ即座に支援内容を考案している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・社会資源の活用についてはまだまだ消極的である。
・包括支援センターの活用・配食サービスの活用等、一部の資源活用はできているが、視野を広げた活用までは至っていない。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
今後も事業所の特性を活かし、本人・家族が求める必要な支援を柔軟に提供していく事と、積極的な地域資源の活用に努め、地域に根差した事業所展開ができるように取り組んでいく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年　1 月 16 日（13：30　～　14：00　）
６．連携・協働	ﾒﾝﾊﾞｰ	松澤副主任、岩澤、佐藤、鈴木、武田、長崎、本多看護師、金谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0	1	3	10	13

前回の改善計画
感染症予防対策をしながら、地域の中で必要とされる事業所として情報発信できるよう、地域行事への参加、ボランティア活動に参加していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
感染症対策を講じながら、または市内の感染症発生状況を見ながらではあるが、少しずつ地域との繋がりを持ちながら活動を進め始めることが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	2	2	8	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	0	1	12	13
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	0	1	12	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	0	3	10	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・医療機関や福祉用具事業所、または他居宅とは必要時に担当者会議を開催し連携を図る事ができている。
・今年度の運営推進会議開催で、感染状況を見ながらではあるが事業所内で会議開催を再開し、地域住民が事業所を訪れる機会も持つことが出来始めている。
・地域の中学生が除雪ボランティアで事業所を訪れる機会があり（コロナ禍前は定期的に訪問してくれる機会があった)、徐々に活動を再開できている事もある。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・地域交流を企画しても、感染症の流行から直前で企画が中止となる等、まだまだコロナ禍前の状態に戻すことは難しく、今後もコロナ禍前と同等の状態に戻すことは難しい状況にあると考えられる。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

・担当者会議、運営推進会議の開催に関しては今年度同様に積極的に行っていく事と、地域の活動に関しては、日々の感染症状況を確認しながらではあるがまずは企画・考案だけでも活性化させていきたい。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年　1 月 21 日（13：30　～　14：00　）
７．運営	ﾒﾝﾊﾞｰ	松澤副主任、木村、近藤、佐藤、鈴木、武田、長崎、本多看護師、金谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0	5	8	0	13

前回の改善計画
本人、家族からの意見、地域の人の意見を職員に適切に周知できるような仕組みを再考し職員間の情報共有に取り組む。

前回の改善計画に対する取組み結果
本人・家族からの意見や相談事は、話を受けた職員だけで止まることなく、職員間で周知し必要な対応策を考案し、事業所全体で取り組んでいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	1	7	3	2	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	7	3	1	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	6	3	4	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	0	2	4	7	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・運営推進会議の集合開催、事業所内での会議開催も再開することが出来、地域の方々からの意見を聞く事ができ、また運営に反映する体制が整っている。「ご意見箱」の設置も継続している。
・登録者、家族からの意見や相談事に関しては内容を真摯に受け止め、対応策を検討している。また職員間で周知徹底している。
・職員による年末ボランティアの活動を行ったり、地域の中学生のボランティア受け入れを再開したところである。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・積極的な地域との取り組みに関しては、やはり感染症の状況が影響できていな。
・ボランティア活動を再開できている事もあるが、職員への周知不足が考えられる。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

感染症の状況を見ながらではあるが、地域との繋がりを持った活動が少しずつでもできるように、企画・考案し地域に根差した事業所となるように取り組んでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年　1 月 21 日（13：30　～　14：00　）
８．質を向上するための取組み	ﾒﾝﾊﾞｰ	松澤副主任、木村、近藤、佐藤、鈴木、武田、長崎、本多看護師、金谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2	8	2	1	13

前回の改善計画
施設外の情報を取り入れることができるよう職員が気軽に参加できるような動画視聴研修の開催も検討していく。危険予測の認識を深めるため、気づきのトレーレング方法の在り方も検討していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
今年度は各研修開催に際して、動画研修の活用を積極的に取り入れ、全職員が参加し学習を深めることが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	4	8	0	1	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	5	2	6	13
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	0	12	13
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	0	8	3	2	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・事業所内研修に関しては、各委員会の委員を中心に研修内容を考案。今年度は動画研修を積極的に取り入れ、職員個々の知識向上に努めた。その他、法人内研修も開催しており希望職員のスキルアップを図っている。 ・リスクマネジメントに関しては、事故・ヒヤリハット報告書の確認や対策について必ず会議を開催し職員間で話し合いを行っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・資格取得やスキルアップ研修への参加に関しては、職員間での差が大きい。積極的な職員もいれば、日々の業務をこなすことで精一杯の職員、また私生活の状況により難しい職員もいる。 ・地域連絡会については、市内では開催していない為参加もできていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
事業所内での研修開催を継続していく他、法人内のレベルアップ研修へも各職員が積極的に参加していけるように働きかけていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年　1 月 21 日（13：30　～　14：00　）
9．人権・プライバシー	ﾒﾝﾊﾞｰ	松澤副主任、木村、近藤、佐藤、鈴木、武田、長崎、本多看護師、金谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	3	10	0	0	13

前回の改善計画
引き続き、定期的に職員の立ち振る舞いを振り返る機会を定期的に設け、利用者の人権やプライバシーに配慮できる取り組みを繰り返し継続していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
各委員会を中心に、身体拘束・虐待防止に取り組んでいる。身体拘束や虐待につながるリスク分析も定期的に実施する事で、職員が振り返る場面も設けることが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	6	7	0	0	13
②	虐待は行われていない	10	3	0	0	13
③	プライバシーが守られている	4	9	0	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	0	2	10	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	6	0	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・虐待・身体拘束に関する内部研修を開催し、スピーチロックや不適切なケア等を学び理解を深めている。また、日々の中で職員の対応や支援方法についてもミーティングを通して話し合い、身体拘束・虐待防止について日頃から意識付けができるように働きかけている。
・個人情報については、本人、家族の同意を得て、広報やホームページ等に写真を掲載している。また研修も開催し正しい理解を深めている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・成年後見制度については対象者がいないため活用できていない。が、成年後見制度に関する研修は開催しており職員の周知を図っている。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

今後も職員の研修や勉強会、日々の関わり方について話し合いを行っていき、身体拘束・虐待・個人情報が安全に管理され、登録者が安心して利用できる環境作りに励んでいく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	社会福祉法人 比内ふくし会	代表者	理事長 佐藤　剛
事業所名	みずきの家	管理者	金谷　晴美

法人・事業所の特徴	社会福祉法人比内ふくし会は、特養・ショートステイ・デイサービス・グループホーム・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所等、幅広く事業を展開しており、心のこもった介護や看護、機能訓練、配食サービス等の支援を提供するとともに、共に助け合い、励まし合っていく人間関係を大切にしながら、利用される方々のことを常に中心に考える事業の運営に心掛けています。 みずきの家では、住み慣れた地域で生活し続けられるよう登録者やご家族の思いに沿ったサービスの提供に努めています。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援ｾﾝﾀｰ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	１人	１人	１人	０人	１人	１人	０人	２人	０人	７人

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み･結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の確認	高齢者施設としても基本的な感染症対策は継続しながら、『住み慣れた地域での生活を継続できるように』という思いを尊重した支援を行っていく。	・感染対策を講じながら、花見や紅葉ドライブ等で、地域に出向いた活動は行う事ができた。 ・事業所全体で自己評価へ取り組み、出来ている事・出来ていない事の事業所の現状を把握し課題を見つけ出した。	・事業所全体で自己評価に取り組んでいると思われる。 ・実際に取り組める具体的な改善計画となっており、一つ一つ取り組んでいると思われる。 ・職員間で情報共有がされている。 ・何事もその場で終わりでなく、改めて考えなおして、事故防止に繋げていると思われる。 ・利用者が、「安心して過ごす」ことを日々考え、改善に取り組んでいる事が良く分かった。 ・これからも地域に必要とされる事業所として頑張ってほしい。 ・前回の改善計画に対する取り組み結果は概ね良好であるが、地域との関係や連携についての改善計画は、やや具体性に欠けているよう思われる。	・登録者が住み慣れた地域での生活を継続する事ができるように、職員一人一人が改善計画を意識しながら、日々の支援に取り組んでいく。地域との関係や連携について、具体性を持って取り組んで行けるように改善していく。

B．事業所の しつらえ・環境	・利用者その家族だけでなく、感染症対策を継続しながら、地域の方にも認知してもらえる事業所の情報発信の在り方を模索していく。 ・引き続き、利用して下さる方の居心地の良い空間を目指し、職員一丸となって環境整備に努めていく。	・登録者の居心地の良い場所となるように、日々環境整備や感染対策（毎日の消毒や換気等）に取り組むことが出来た。	・利用者の方がゆっくりとくつろいでいる姿を見て、居心地が良空間になっていると思われる。 ・利用者の皆さんがゆったりと過ごせていると思われる。 ・年間の行事の時々に、色々と楽める内容となっており微笑ましく感じる。	・登録者の方が安心して過ごすことが出来るように、今後も事業所内の感染対策を継続し健康管理に留意していく。 ・四季を感じながら心地よく過ごす事ができるように、環境整備に取り組んでいく。
C．事業所と地域のかかわり	・引き続き感染症対策をとりながら、地域行事への参加、地域の人との関わりの在り方を模索していく。 ・地域包括支援センターや行政、民生委員をはじめとする地域住民との情報共有を図りながら連携していく。	・感染対策を講じながら地域へ出向いた活動は数回出来たが、まだまだ希薄である。 ・包括との連携に関しては日々実践できているが、民生委員や社会資源の活用に関しては不十分である。	・職員は親切で話しやすい雰囲気作りが出来ている。 ・地域行事とあるが、感染症の事もあり中々参加するには難しいと思われる。コロナ禍前と同等に戻すのは難しいのではないか。 ・地域での行事も縮小されている部分もあり、ボランティア受け入れ等で十分に地域と関わる事が出来ていると思われる。 ・行政からも情報提供していきたいと思う。 ・事業所が相談しやすい場所にはなっているが、地域の方は分かっていないと思う。 ・スタッフの自己評価から、地域との関わりが希薄のように思う。	・毎年度の課題となっている地域活動に関して、感染対策を講じながら一歩前進できるような内容となるように取り組んでいきたい。その為には、地域活動の情報収集を強化し、積極的に包括や市とも関わりを持って行く。
D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・感染症対策をとりながら、行える地域での活動の支援の方法を模索し実現可能な支援を積み重ねて地域での生活を継続できるように支援していく。	・登録者の家族の事で相談を受け包括へ繋ぐ等連携を図る事はできているが、一歩踏み込んだ地域との関係性は未だ不十分である。	・まだ地域行事やイベントへ参加は難しいと思われる。 ・事業所では、色んなことで関わる事ができていると思う。地域の方でも色んな方がいるので、大変だと思うが一つ一つ考えて行動する事が大切だと思う。 ・例えば、送迎の際などに同居家族や近所の方に心配な方がいた場合、必要な機関へ繋ぐこともご	・包括との連携を継続しながら、民生委員やご家族からの相談事にも対応できるような体制作りを構築し、地域に必要な事業所となるように努力していく。

			本人の暮らしを支え、地域へ関わる事になっていくと思う。 ・スタッフの自己評価から、地域との関わりが希薄のように思う。	
E．運営推進会議を活かした取組み	・引き続き感染症対策をとりながら、定期的に運営推進会議の集合開催を通じ、有意義な意見交換、情報共有に努めたい。	・2カ月に1回の運営推進会議を開催し、事業所の現状や取り組みについて報告する事ができた。また会議において頂いた意見や提案に関しては、議事録を通して職員間で情報共有できている。	・家族からの意見や相談事を真摯に受け止め対応していると思う。 ・運営推進会議は2カ月に1回開催されており、花見やドライブ等で利用者の方々と外出されている事も良いと思う。 ・事業所の取り組みが毎回わかりやすく報告されている。 ・分からない事や困っている事があれば、その場で回答できない事もあると思うが、行政が協力できることはしていきたいと思う。 ・できる事から取り組んでいく、大変だとは思うが色んな取り組みを考えていく事が大切。	・来年度も定期的な運営推進会議を開催し、委員の方々との意見交換や情報共有を行い、地域の実情を把握しながら、事業所のステップアップに繋げていきたい。
F．事業所の防災・災害対策	・引き続き、訓練の様子や取り組み内容については運営推進会議などで情報発信していく。 ・状況に応じ、業務継続計画の内容を見直し、備蓄品や非常食の点検を定期的に行い、有事に備えていく。	・福祉の森ブロックで合同避難訓練を行い、有事に備えている。また、業務継続計画の策定や見直し研修を通して、職員の意識を高めることができた。	・災害時の避難手順を知っておく必要があると思う。防災計画を把握し、防災訓練にも参加したい。 ・年に何回かは訓練した方が良いと思う。 ・運営推進会議で防災訓練の様子が報告されているため確認できている。 ・ひない福祉の森にある事業所と協力できる環境にあるので、災害時も利用者は心強いと思う。	・年間の訓練を通して、今後も登録者・職員の防災意識を高めていく。非常食や災害備蓄品の点検も定期的に行っていく。